

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	千曲川・高社山 SEA TO SUMMIT 事業
事業主体 (連絡先)	千曲川・高社山 SEA TO SUMMIT 実行委員会 0269-62-3111 (飯山市役所)
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	8,252,618円 (うち支援金: 1,324,000円)

事業内容

信越自然郷の豊かな自然を活かしアウトドアアクティビティによって自然の中の移動を楽しむ旅のスタイル「JAPAN ECO TRACK」を推進するため、「北竜湖」から「高社山」までカヌー・自転車・登山の3種のアクティビティをつなぎ自然循環を体感し、自然の大切さについて考える環境スポーツプログラム「SEA TO SUMMIT」を開催。事業者間連携、公民連携の強化を図り、通年での滞在型アクティビティ旅行が楽しめる環境をつくります。



【参加者・スタッフ集合写真】

【目標・ねらい】

- ① 信越自然郷およびそのアウトドア環境の認知拡大
- ② グリーン期の来訪者・滞在者数・観光消費額の増加
- ③ 公民連携、事業者間連携の体制構築



事業効果

- ① 参加者が増加（前年比 125%）したことで、より多くの方に信越自然郷（飯山市・中野市・木島平村エリア）の魅力を訴求することができた。
- ② 事前体験会の開催、参加・レンタル・宿泊・送迎をパッケージにしたツアーの企画販売等、イベントに限らずこのようなプログラムを提供できる基盤が整備された。
- ③ 同日開催の「信州中野おごっそフェア」との連携、運営をとおした地域間連携など、体制構築は確実に図られている。

※自己評価 【 A 】

【理由】

過去2回の経験を活かし、参加者の増加と満足度の向上、旅行商品化に向けた動きも進めることができた。また、台風19号災害があった中でも、公民連携で大会を成功させることができたことは大きな経験となった。

今後の取り組み

元気づくり支援金を活用した3回の開催をとおし、地域内の機運醸成はもとより、運営・協体制の構築できたので、今後はそのネットワークを活かした地域内外へのプロモーションを推進し、参加者数の更なる増加とリピーター率の向上を狙う。
合わせてイベント時に限らない旅行商品の造成、販売に向けた連携強化に努める。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある